

様式2-1 評価結果のまとめ

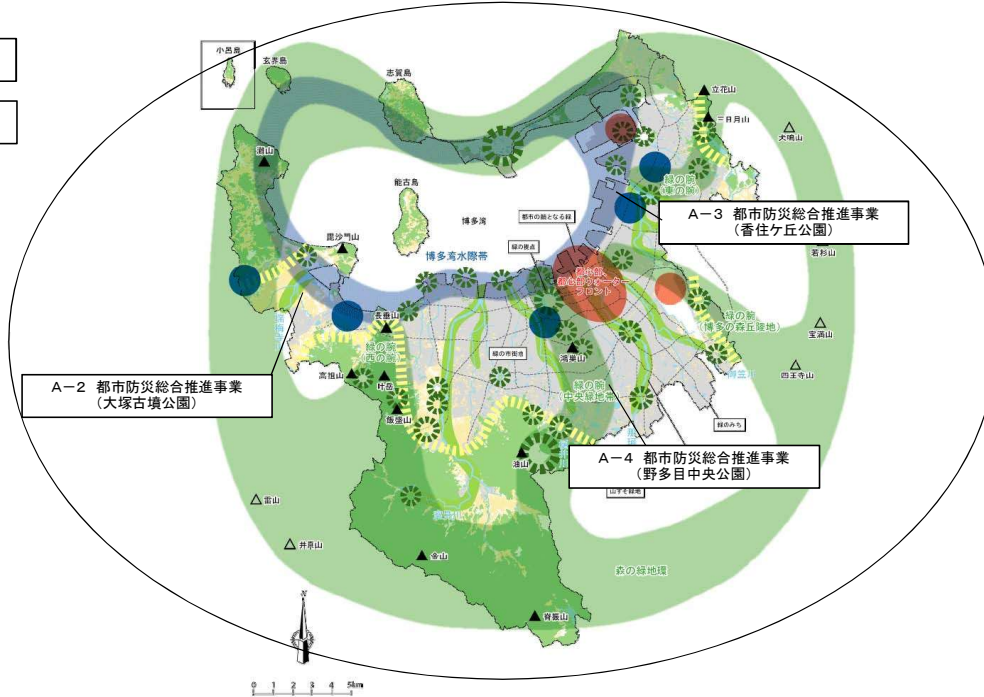
都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	こどもの安全・安心な緑づくり		
計画期間	平成31年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	全体事業費	858百万円	国費率	1/2

		要素事業名							
1)事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○地区公共施設等整備 ○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園) ○都市防災総合推進事業(香住ヶ丘公園) ○都市防災総合推進事業(野多目中央公園)						
		B関連社会資本整備事業	○公園遊具整備 ○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園)						
		C.効果促進事業	-						
		その他関連する事業	-						
	進捗状況	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(令和4年度末時点)		次期計画	
		A.基幹事業	○地区公共施設等整備		公園施設整備 13公園		一部完了		実施予定
			○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園)		大塚古墳公園(園路、広場整備等)		完了		-
			○都市防災総合推進事業(香住ヶ丘公園)		香住ヶ丘公園(広場整備等)		完了		-
			○都市防災総合推進事業(野多目中央公園)		野田目中央公園(園路、広場整備等)		完了		-
		B関連社会資本整備事業	○公園遊具整備		公園遊具整備 6公園		一部完了		実施予定
○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園)			大塚古墳公園(遊具整備)		完了		-		
C.効果促進事業									
その他関連する事業									
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象		指標名		当初現況値	目標値	実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
			地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合		42%	50%	42.7%	地区避難場所となる公園を8箇所整備したが、目標値を達成できなかった。	
			地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合		63%	75%	71.0%	地区避難場所となる公園を8箇所整備を行い、園路、広場、遊具を改修することで、子どもが安心して遊べると感じている市民が増加しているものの、目標値には達さなかった。	
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)		・有事の際避難場所となる公園において、平時における公園緑地空間の創出。						
3)その他	今後の方針		・地区公共施設等整備について、引き続き、市街地などの避難場所が不足している地域において、防災・減災に資する公共空間を創出していく。						

「子どもの安全・安心な緑づくり(防災・安全)」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (R3年度)
安全・安心で良好な生活環境の確保を目指して、市民ニーズに対応した身近な都市基盤の整備を進めるとともに、地域の防災力強化を図っていく。 また、小学校等を中心とするエリアにおいては、防災性ととも子どもの安全性を総合的に向上させていく。	①地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	42%	50%	42.7%
	②地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	71.0%

- A-1 地区公共施設等整備  
(市内全域)
- B-1 公園遊具整備  
(市内全域)



主な事業効果

・都市公園事業については、地区避難場所となる8公園を整備することで、身近な公園における地域の防災力強化に資する公共空間を創出することができた。